

事前評価個表

整理番号	53
------	----

地域（地区）名	揖斐川 ^{いびがわ} 地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	本巣市ほか8市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>揖斐川森林計画区（以下「計画区」という。）は、岐阜県の南西部に位置し、大きく分けて西濃地区（大垣市、海津市、不破郡、養老郡、安八郡）、揖斐地区（揖斐郡）、岐阜地区（瑞穂市、本巣市、本巣郡）の4市10町で構成されている。揖斐川上流部には平成20年5月に本格的運用を開始した徳山ダム（総貯水容量は国内最大の約6億6千万m³）をはじめとする複数のダムや発電所が建設されるなど、治水・利水対策が進められている。</p> <p>計画区の森林面積は、計画区の総土地面積184.1千haの71%に当たる130.5千haで、全県下森林面積の15%を占めている。このうち、国有林が10.5千haで8%、民有林が120.0千haで92%となっている。</p> <p>計画区の人工林はスギが49%、ヒノキが49%となっており、県全体（スギ：35%、ヒノキ：57%）と比較するとスギの割合が高いことがわかる。また、広葉樹の割合（60%）が県全体（45%）に比べて高いことも特徴で、人工林は間伐等の保育が必要な7齢級以下の森林が42%を占めており、偏った齢級構成となっている。</p> <p>現在の森林・林業を取り巻く情勢は、木材自給率及び材価の低迷、林業従事者の高齢化等、厳しい状況にあり、森林の整備状況は低調で、森林が本来持つ国土保全、水源かん養等の公益的機能を十分に発揮できていない。</p> <p>このような状況を踏まえ、本計画区では森林の整備にあたって、揖斐川地域森林計画で定める方針を基本として、多面的機能を発揮する森林整備を推進することとする。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,798ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：1,578,000千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.25 （総便益(B) = 12,462,825千円、総費用(C) = 1,991,557千円）</p>
評価結果	<p>必要性：対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐を中心とした森林施業を効率的に推進することにより、優良材の安定的な生産に繋がりを、また森林の持つ公益的機能がより高度に発揮されることになり、有効性は高い。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 揖斐川

岐阜県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,982,042	
	流域貯水便益	1,146,716	
	水質浄化便益	1,957,688	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,179,125	
	土砂崩壊防止便益	124,902	
環境保全便益	炭素固定便益	1,514,868	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,557,484	
総 便 益 (B)		12,462,825	
総 費 用 (C)		1,991,557	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,462,825}{1,991,557} = 6.25$		

森林環境保全整備事業 揖斐川地域(岐阜県) 概要図

